

とちぎの 森林と林業

～令和4(2022)年版 栃木県森林・林業統計書から～

1. とちぎの森林面積はどのくらいですか？

2. とちぎの国有林と民有林の割合は？

3. とちぎの保安林について教えてください

4. とちぎの山からどのくらい丸太(素材)が生産されていますか？

5. とちぎで生産され、建物に使われる木材はどのくらいですか？

6. とちぎで生産されるきのこには、どんなものがありますか？

7. とちぎに自然公園はどのくらいありますか？

8. とちぎの元気な森づくり県民税事業について教えてください



1. とちぎの森林面積はどのくらいですか？

統計書1、14ページ

約35万haです。

森林には、主に木材生産の場として利用される針葉樹林（スギやヒノキなど）と、主にきのこ栽培のための原木生産や、自然とのふれあいの場として利用される広葉樹林（クヌギやコナラなど）などがあります。



針葉樹林（鹿沼市）



広葉樹林（小山市）

本県の県土面積約64万haの半分以上（約54%）が森林となっています。
内訳は、針葉樹林が約17万ha、広葉樹林が約14万ha、そのほかの針広混交林や竹林が約4万haです。



ちもりくん

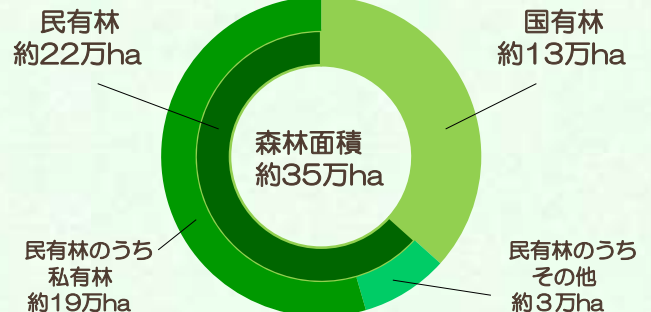
2. とちぎの国有林と民有林の割合は？

統計書12ページ

国有林約37%、民有林約63%です。

森林は、国所有の「国有林」と、そのほかの個人や団体所有の「民有林」に分かれます。民有林は、個人や会社所有の「私有林」が最も多く、その他に「県営林」、「公有林」、「社寺有林」があります。

<所有区分別森林面積>



県庁では、民有林を対象に様々な仕事を行っています。



ちもりくん

3. とちぎの保安林について教えてください

統計書55ページ

約20万haの森林が保安林に指定されています。

「保安林」とは、森林の中でも特に重要な役割を果たしている森林のことで、国や都道府県が指定し、大切に管理されてわたしたちの暮らしを守ってくれています。

保安林には、土砂の流出を防ぐ「土砂流出防備保安林」、雨を貯えて洪水や濁水を防ぐ「水源かん養保安林」など、その種類に応じて様々な役割があります。



土砂流出防備保安林（那須町）

「土砂流出防備保安林」が約4万ha、「水源かん養保安林」が約15万haです。



ちもりくん

4. とちぎの山からどのくらい丸太（素材）が生産されていますか？

統計書42ページ

素材の年間生産量は約66万m³です。

素材とは、山に立っている木を伐採して運び出した、樹皮などがついたままの丸太のことです。素材の年間生産量は全国で10番目となっています。

競泳用の50mプールでたとえると、**約270杯分**です。
(50m×幅25m×深さ2mとして)
栃木県内で使われる素材のうち**約7割**が製材工場で柱や梁（はり）などに加工されています。



ちもりく



山から運び出される丸太（矢板市）



木材共販所（矢板市）

5. とちぎで生産され、建物に使われる木材はどのくらいですか？

統計書43ページ

建築用材の年間出荷量は約28万m³です。

主にスギやヒノキなどから、家を建てるための柱や梁（はり）などが生産されています。



製材工場（那須塩原市）



木造住宅



ちもりく

1年間に**木造住宅約1万戸分**の建築用材を出荷しています。
(木造住宅1戸24m³として)

6. とちぎで生産されるきのこには、どんなものがありますか？

統計書45ページ

しいたけ、まいたけ、なめこなどで、生しいたけの年間生産量は約3,200トン（全国8位）です。

きのこをはじめとする本県の特産林産物は、福島第一原子力発電所事故の影響を受け、主要作物であるしいたけなどにおいて出荷制限の影響により、生産量が大きく減少しています。

しかし、安全な栽培方法の研究・普及など放射性物質対策を進めてきた結果、出荷制限の一部が解除されてきており、対策の効果が着実に表れてきています。



菌床しいたけ



原木しいたけ



まいたけ



なめこ

7. とちぎに自然公園はどのくらいありますか？

統計書75ページ

国立公園2箇所と県立自然公園8箇所で、
面積は約13万3千haです。

自然公園には、国が指定した国立公園、国定公園と、県が指定する県立自然公園があります。

県土面積の約2割は自然公園です。

県内の国立公園面積は、約10万haあり、全国で4番目の順位となっています。



日光国立公園（日光市）



那珂川県立自然公園
（茂木町）

8. とちぎの元気な森づくり県民税事業について教えてください

統計書78ページ

「高齢化した森林の若返り」「野生獣被害対策」「森林所有対策」を重点事業とし、「災害に強い森づくり」を推進しています。

皆さんの御理解、御協力のもと、御負担いただいたとちぎの元気な森づくり県民税（個人：年額700円、法人：均等割額の7%）を活用し、県民協働による元気な森づくりを進めています。とちぎの元気な森づくり県民税はH20(2008)年度から導入され、長年手入れされていなかった森林の整備等を進めてきました。H30(2018)年度からは、森林の若返りのため、皆伐後の植栽の支援等に取り組んでいます。



少花粉スギコンテナ苗の植栽
（日光市）



通学路周辺の整備
（日光市）

令和3(2021)年度は、
皆伐後の植栽 341ha
里山林の整備 958ha
地籍調査 816ha
などの事業を実施しました。



もっと詳しく知りたい！

詳しくは、令和4(2022)年版栃木県森林・林業統計書をご覧ください。

栃木県森林・林業統計書ホームページアドレス

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/shinrintoukei2022.html>

とちぎ 林業統計書 検索

栃木県環境森林部環境森林政策課
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
028-623-3302



VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ